|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 30年11月1日附属幼稚園　第13号発 行 者　八谷俊一郎 |
| **楽しく歌ったどうぶつうたあそび**　　去る25日（木）に、「どうぶつうたあそび」の著者西村直人さんを招いてミニコンサート開きました。全園児を対象に実施したかったのですが、大学の見学実習と重なったために、年少さんに限定して実施しました。珍しい道具を出して準備を進める西村さんに、「あなたは誰？」「何をすると？」「手伝おうか」と次々に質問をする年少さんに対して、西村さんも優しく受け答えし、直ぐに温かな空気に包まれました。西村さんがBGMに乗せてウクレレを弾きながら歌い出すと、子どもたちは、陽気にはしゃぎながら、「なんという楽器？」「バイオリン？」「ギター？」などの質問。子どもたちが、楽器の名前をよく知っているのに感心しました。でも、ウクレレは初めて見る楽器のようでした。年少さんが全員揃ったところで、演奏の始まりです。西村さんがウクレレ片手に、自ら作詞・作曲した動物の歌を楽しく演奏されました。子どもたちも、曲によっては跳んだり跳ねたり、また、手拍子を加えたりして、あっという間の1時間でした。特に、三匹のヤギの物語「ウゴンゴボン」は、自信作と見受けられ、絵本の挿絵を見せながらの弾き歌いでした。三匹のヤギが、丸木橋を渡ろうとすると、怪獣が現れ、ヤギを食べようとします。その時、呪文の「ウゴンボゴン」を唱えると、怪獣はたちまち逃げ出してしまう話です。子どもたちも、歌の中で、怪獣が出るたびに、大きな声で「ウゴンゴボン」と呪文を唱え、物語に入り込んでいました。実は、西村さんは、私が担任をした最初の卒業生で、当時流行った「およげたいやき」を毎日、学級で歌っていたことを覚えていました。彼は、明朗活発で、ピアノがとても上手で、みんなから愛される存在でした。40年振りの再会でした。H:\DCIM\100NCD60\DSC_0063.JPG | 芋の収穫後のF:\2018-10-24 年中さつまいも切り\年中さつまいも切り 080.JPG美味しいケーキ作り　　　　　　　　　　　　　　　　真剣な顔つきで芋を切っているのは、年中さんです。春に植えた芋の収穫を終え、24日に収穫祭を兼ねたお芋ケーキ作りの準備をしているところです。各クラスとも、先生の指導を受け、一人ひとりが自力で芋を切りました。初めて包丁を扱う年中さんもいましたが、先生の丁寧な指導で、誰一人として切り傷を負う人もなく、無事に短冊に切ることができました。こうした経験F:\2018-10-25 年中さつまいもパーティー\年中さつまいもパーティー 008.JPGの積み重ねが大切だと思っています。25日にケーキ用の粉と混ぜる作業です。今年は、炊飯器でケーキ作りです。担任が、事前に教材研究をした成果が実って美味しいケーキができたようです。みんな甘いケーキに舌鼓を打ち、満足した表情でした。よく歩いた秋の遠足H:\DCIM\100NCD60\DSC_0198.JPG23日に雨で延期となった遠足を30日に実施し、動物園へ行きました。年少さんは往復とも園バス、年中と年長さんは、行きは歩きで帰りは園バスによる遠足です。学年に応じて園内のコースを変え、動物の園舎を歩き回りました。年長さんについて行きましたが、年長さんともなると、動物についての知識は相当なものです。知っている知識を友達にいっぱい披露していました。活発に動き回るサルやきりん、ヒョウなどの動物に人気が集まっていたようです。また、カワウソが水にもぐったり、トンネルをくぐったり、縄にぶら下がったりする場面では感動の声があがっていました。年長さんは、その後、植物園までよく歩きました。 |